

## ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)

群馬県前橋市元総社町七三-15

TEL 027-2555-3434

FAX 027-2555-3435

http://www.neues-asahi.jp

「富岡製糸場と絹産業遺産群」が六月の第38回世界遺産委員会で正式に登録されました。連日、多くの人々が見学に訪れています。

五年前に群馬県蚕糸技術センターでは「絹へのふれあい体験学習」を開講しました。「養蚕体験コース」と「座繰り体験コース」を県内の施設見学も含め十八回、約一か月をかけての講座を開くという記事を見つけ早速申し込みました。午前九時から午後四時三十分の一日授業です。開校式を終え、センター施設見学、翌日には蚕・繭糸の特徴や製糸の歴史、午後からは早速、座繰り器の取り扱い方、糸の扱い方を学びました。「座繰り体験コース」を選びましたが、糸の系統と品種の動向や糸の病気、糸の収穫法として「蚕」の一生や壮蚕(四〜五齢)飼育に関する専門的な知識、飼育実習では三齢飼食、桑園管理と給桑、熟蚕の収集、回転族(繭を作る枠)なども学習、そして繭から糸をとる「座繰り」は連日十回におよびました。撚糸と製錬実習も終え、糸になったものは桐生の繊維試験場で美しい布になりました。

その間、富岡製糸場はもちろん富士見の座繰りをしている家を訪問、手織り工房、製錬工場、撚糸工場、ニット工場、碓氷製糸工場の見学、糸の実際のジャム作り、繭クラフト制作。最後には修了証書と記念写真まで・・・記念写真は、座繰りで繭から糸になったビニール袋いっぱいのお宝物を参加者の皆が嬉しそうに抱えています。

参加者は県内はもちろん北海道、埼玉から来ている人もいました。

富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産に登録されたことは喜ばしい事です。が、一カ月の体験を通じて、それまでに養蚕や蚕糸に携わった多くの人々の事を考えた時、その当時の現実を知ること、長年、研究開発に一生を捧げた人、そして世界遺産になるまで身も心も費やし、すでに他界された人の事を心に深く刻むことは大切なことのように思えます。次世代に継承していくのであれば、私の体験した一カ月の一部でも子供たちに体験できる場が出来る、見学や観光だけに終わることなく生きた世界遺産としての今後に夢ふくります。

群馬の豊かさは、年齢を重ねてきて特に感じています。

自然の豊かさ、食材の豊富な事、上州人の気質の良さ、先人が残してくれた大きな遺産。それらを真摯に受けとめて育てていけば群馬はどの県よりも自信をもって来県者に「もてなし」が出来る県だと確信できます。それは県民一人一人にかかっているとも感じます。

(武藤)

## ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

## 綿貫哲雄作陶展

〈企画〉

会期 七月十二日(土)〜二十日(日)  
午前十時〜午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

ノイエス朝日で六回目の個展です。前橋・富士見で作陶を続ける綿貫哲雄氏の近作を展示販売いたします。身近に使える食器や花器など手に取ってお楽しみ下さい。

## 第49回 自由美術群馬展

会期 七月二十三日(水)〜二十七日(日)

午前十時〜午後六時(最終日は午後五時)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

## 斉藤健司展

〈企画〉

会期 八月二日(土)〜十日(日)

午前十時〜午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

\*ご案内状は次回にお届けいたします。

展覧会についてのお問い合わせにつきましては、会期中に  
お電話下さい。休廊中は不在にしております。

## 〈県内の展覧会案内〉

## アロマ教室

## 「熱中症」と「虫除け対策」

日時 八月二十四日(木)

午後二時〜三時三十分

会場 ノイエス朝日 二階会議室

会費 一八〇〇円

講師 宮崎聖美先生(薬剤師・オフィス21主宰)

助手・・・武藤

今年は例年になく天候不順な日々が続きます。

食生活に気をつけ、適度な運動をしても体調管理が大変な毎日です。まして病気の方や高齢者にとっては心配事が多い毎日です。

気分を一新して毎日を快適に過ごしたい・・・そんな方に精油(芳香植物から抽出したオイル)を使って気軽に生活に取り込んでいける「熱中症対策」また、「虫除け」のアロマ教室を実施いたします。男性も大歓迎、是非一度参加してみてください。お待ちしております。



「水切り」 伊藤三枝

〈予告〉

伊藤三枝さん個展

2015年1月5日(月)〜18日(日)

## ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)

群馬県前橋市元総社町七三-15

TEL 027-2555-3434

FAX 027-2555-3435

http://www.neues-asahi.jp

「富岡製糸場と絹産業遺産群」が六月の第38回世界遺産委員会で正式に登録されました。連日、多くの人々が見学に訪れています。

五年前に群馬県蚕糸技術センターでは「絹へのふれあい体験学習」を開講しました。「養蚕体験コース」と「座繰り体験コース」を県内の施設見学も含め十八回、約一か月をかけての講座を開くという記事を見つけ早速申し込みました。午前九時から午後四時三十分の一日授業です。開校式を終え、センター施設見学、翌日には蚕・繭糸の特徴や製糸の歴史、午後からは早速、座繰り器の取り扱い方、糸の扱い方を学びました。「座繰り体験コース」を選びましたが、糸の系統と品種の動向や糸の病気、糸の収穫法として「蚕」の一生や壮蚕(四〜五齢)飼育に関する専門的な知識、飼育実習では三齢飼食、桑園管理と給桑、熟蚕の収集、回転族(繭を作る枠)なども学習、そして繭から糸をとる「座繰り」は連日十回におよびました。撚糸と製錬実習も終え、糸になったものは桐生の繊維試験場で美しい布になりました。

その間、富岡製糸場はもちろん富士見の座繰りをしている家を訪問、手織り工房、製錬工場、撚糸工場、ニット工場、碓氷製糸工場の見学、糸の実際のジャム作り、繭クラフト制作。最後には修了証書と記念写真まで・・・記念写真は、座繰りで繭から糸になったビニール袋いっぱいのお宝を参加者の皆が嬉しそうに抱えています。

参加者は県内はもちろん北海道、埼玉から来ている人もいました。

富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産に登録されたことは喜ばしい事です。が、一カ月の体験を通じて、それまでに養蚕や蚕糸に携わった多くの人々の事を考えた時、その当時の現実を知ること、長年、研究開発に一生を捧げた人、そして世界遺産になるまで身も心も費やし、すでに他界された人の事を心に深く刻むことは大切なことのように思えます。次世代に継承していくのであれば、私の体験した一カ月の一部でも子供たちに体験できる場が出来る、見学や観光だけに終わることなく生きた世界遺産としての今後に夢ふくります。

群馬の豊かさは、年齢を重ねてきて特に感じています。

自然の豊かさ、食材の豊富な事、上州人の気質の良さ、先人が残してくれた大きな遺産。それらを真摯に受けとめて育てていけば群馬はどの県よりも自信をもって来県者に「もてなし」が出来る県だと確信できます。それは県民一人一人にかかっているとも感じます。

(武藤)

## ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

## 綿貫哲雄作陶展

〈企画〉

会期 七月十二日(土)〜二十日(日)  
午前十時〜午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

ノイエス朝日で六回目の個展です。前橋・富士見で作陶を続ける綿貫哲雄氏の近作を展示販売いたします。身近に使える食器や花器など手に取ってお楽しみ下さい。

## 第49回 自由美術群馬展

会期 七月二十三日(水)〜二十七日(日)

午前十時〜午後六時(最終日は午後五時)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

## 斉藤健司展

〈企画〉

会期 八月二日(土)〜十日(日)  
午前十時〜午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

\*ご案内状は次回にお届けいたします。

展覧会についてのお問い合わせにつきましては、会期中に  
お電話下さい。休廊中は不在にしております。

## 〈県内の展覧会案内〉

## アロマ教室

## 「熱中症」と「虫除け対策」

日時 八月二十四日(木)

午後二時〜三時三十分

会場 ノイエス朝日 二階会議室

会費 一八〇〇円

講師 宮崎聖美先生(薬剤師・オフィス21主宰)

助手・・・武藤

今年は例年になく天候不順な日々が続きます。

食生活に気をつけ、適度な運動をしても体調管理が大変な毎日です。まして病気の方や高齢者にとっては心配事が多い毎日です。

気分を一新して毎日を快適に過ごしたい・・・そんな方に精油(芳香植物から抽出したオイル)を使って気軽に生活に取り込んでいける「熱中症対策」また、「虫除け」のアロマ教室を実施いたします。男性も大歓迎、是非一度参加してみてください。お待ちしております。



「水切り」 伊藤三枝

〈予告〉

伊藤三枝さん個展

2015年1月5日(月)〜18日(日)

# DiPS.A news

## Vol.12



### TOPICS 雨の日は手紙でも書いてみませんか。

ディップス店内のセレクト文具コーナーでは、特に手紙を書くことにかかわる商品にこだわっています。なぜって、「読む・書く・伝える」という私たちスタッフの大切にしているテーマを、誰でも身近に感じることができるのが「手紙」だと思うからです。紙は自分たちの気持ちを伝えることに始まって、経験や歴史を記し伝えていくことにも欠かすことのできないものです。デジタルメディアの出現と普及によって縮小するかと危ぶまれた紙の需要ですが、ここ数年ではデジタル製版された凸版による活版印刷やWEB上のブログをリアル本にするなど、「デジタル+α」としての新たな紙の存在も求められています。手に取って見ることが出来る者だけが共有できる「紙」によるコミュニケーション。まずは手紙を書くことで少し見直してみませんか？



tocotowa レターセット  
【カラベシリーズ】  
864円



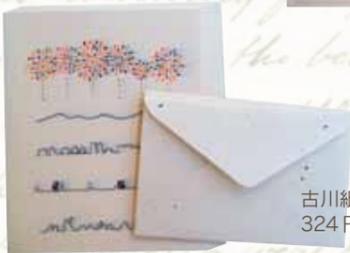
tocotowa ポストカード  
【シンプルシリーズ】  
10枚 648円



エアークケットレターセット  
432円



tocotowa  
ミニメッセージカード  
194円



古川紙工あそび箋  
324円



2重封筒  
1枚 54円

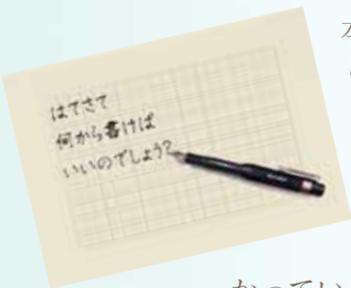


美濃和紙徳用便箋 50枚 540円  
美濃和紙特用封筒 10枚 367円

ぬいぐるみごと郵送できる  
パラシュートレター  
1,296円

### 木部克彦氏による自分史セミナー

## これが「著者になる感動」だ！



本を作ろう！と思っはみたものの、何から始めたらいいのかわからない、どこに頼めばいいの、そして費用はどのくらいかかるのか、など不安も多くあるものです。今回のセミナーではこれまで多くの自分史製作に携わってきた木部克彦氏を講師に迎え、自分史作成のヒントをご紹介します。すでに原稿作成にとりか

かっている方、これからの方、自分史に興味のある方…この機会にぜひご参加ください！

とき **6月7日(土)**  
午前 10:00 ~ 12:00 予定

ところ **DiPS.A 2F**

**参加費無料！**

※事前にお申し込みが必要です。

来場者全員にプレゼント！！  
木部克彦著『本が涙でできている16の理由』

TEL 027-254-1212 FAX 027-254-1227  
e-mail : shop@dips-a.jp

いずれも「ディップス朝日」まで

講演者 **木部克彦 (きべ・かつひこ)**

1958年群馬県生まれ。毎日新聞記者を経て、高崎市の出版社・あさを社専務取締役。出版業のかたわら、食・料理・葬祭・社会福祉などの分野で取材・執筆活動を行う。主な著書に「群馬の逆襲」シリーズ、「本が涙でできている16の理由」、藤岡良のペンネームで「主夫っていいかも」、「主夫のなんちゃって料理術」、「精進料理紀行」などがある。

## ワークショップ in DiPS.A

6月 4日(水) 7日(土) 9日(月)

7月 2日(水) 5日(土) 7日(月)

■リング製本コース  
11:00~12:30  
参加費 2,000円(税込)

■活版印刷コース  
14:00~15:30  
参加費 2,000円(税込)

■アルバムカフェ  
13:00~15:00  
遅刻早退自由の1時間 500円(税込)



掲載内容についてのお問い合わせ  
お申し込みはこちらまで…

### DiPS.A ディップス朝日

月曜~土曜 午前9時~午後7時(日曜・祝日休業)  
〒371-0846 群馬県前橋市元総社町70-1  
TEL.027-254-1212 FAX.027-254-1227  
<http://www.dips-a.jp>

